

# The 2 Chome Times 2023年 6月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO301号.

2023年・6月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 6月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

## ★2丁目の新しいスポンサーになって頂きました

2丁目のアーケードに備えられている広告看板の新しいスポンサーに「㈱こうべ未来都市機構」様と「沖縄美ら島財団」様、そして「ディスプレイ タモン」様が快諾して頂きました。㈱こうべ未来都市機構は神戸市の外郭団体で神戸のまちの均衡のとれた持



株式会社こうべ未来都市機構

続的發展のために神戸市と連携しており、4月1日からは六甲有馬ロープウエーや「まやビューライン」として摩耶ケーブルや摩耶ロープウエーも管理されています。その他にも神戸・関空ベイシャトルも管理されています。



一般財団法人

沖縄美ら島財団

Okinawa Churashima Foundation

沖縄美ら島財団はご存じ、美ら海水族館や首里城公園などでお馴染みの財団で沖縄の自然環境・生物についての調査や研究を継続的に行い、社会に貢献されてこられました。この素晴らしい組織がその地域や国に果たしてきた役割は大きく、三宮センター街2丁目商店街としてもこれらの組織と関係を持てることは大変名誉なことです。そして最後のディスプレイ タモンは2丁目振興組合が新たに契約したイベントなどのお手伝いをする会社です。神戸の街の魅力増大に大いに貢献されている組織と沖縄の魅力の世界にも発信されている組織、そして2丁目の発信を手助けして頂ける組織ですから、益々そのご発展を願うと共に、私達もこの3社に恥じぬ街創りをして行かねばなりません。この度は本当に感謝申し上げます。

## ★あべのハルカス美術館 幕末土佐の天才絵師 「絵金」 芝居絵屏風

謎の天才絵師とも呼ばれる土佐の絵師・金蔵は、幕末から明治初期にかけて数多くの芝居絵屏風などを残し、「絵金さん」の愛称で、地元高知で長年親しまれてきました。絵金が残した屏風絵は、今も変わらず夏祭りの数日間、高知各所の神社等で飾られ、闇の中に蠟燭の灯りで浮かび上がるおどろおどろしい芝居の場面は、見るものに鮮烈な印象を残しています。高知県外では約50年ぶりとなるその「絵金さん」の大規模展があべのハルカス美術館で6月18日まで開かれていたので早速鑑賞しに行ってみました。

絵金は文化9年(1812)、高知城下・新市町(現・はりまや町)の髪結いの子として誕生したと伝えられています。ちなみに、「絵金」は「絵師の金蔵さん」の略称・愛称であり、本人が名乗ったことはありません。幼いころから画才のあった金蔵は後に、土佐藩家老・桐間家の御用絵師となりました。当時としては町人からの大出世でした。ところが、33歳の頃、贋作事件に巻き込まれたようで、御用絵師の身分をはく奪され、城下を追放になります。金蔵や弟子筋の手によると思われる芝居絵屏風や絵馬提灯は多数残っていますが、中年以降、いつ頃どこで仕事をしていたのか、確かな史料が全く残っていません。

「謎の天才絵師」とも言われる由縁です。

実際に多くの作品を観るとその強烈な「赤」が印象に残りました。歌舞伎や浄瑠璃がテーマになっており、ストーリーそのものに血なまぐさい要素が詰まっているからです。中でも興味を引かれたのは豊臣秀吉の治世下に実在した「石川五右衛門」の生誕から釜ゆでの刑に処せられる迄を24点(第十七が欠けており、本来は25点)の絵馬提灯で描いた「釜淵双級巴(カマガフチフタツドモエ)」の中の釜ゆでの場面や、浄瑠璃「仮名手本忠臣蔵」の「第十二 十一段目 討入」の場面



五右衛門の釜ゆで

の場面や、浄瑠璃「仮名手本忠臣蔵」の「第十二 十一段目 討入」の場面

ぎに気付き、慌ててふんどしに直接刀を差し、動揺している様子、さらには「播州皿屋敷」でお菊を責め立てる場面を描いた作品も印象的でした。日本人にとって馴染み深い歌舞伎などの演目を再現している作品が多数で、観ている側の興味は尽きません。今回はこの展覧会を見逃された方々も高知で毎年行われる夏祭りではこれらの芝居絵屏風が神社に飾られており、現在、約10か所の神社で、昔ながらに屏風を絵馬台（台提灯）に飾る、絵金のある夏祭りの風景を見ることができます。ただし、運営する氏子たちの高齢化や、屏風の状態の劣化などの理由に年々減少しているため、早く高知に出かけられるのをお勧めいたします。



(討入で慌てる高師直)

### ★駐神戸大韓民国領事をお招きしての勉強会

6月6日の勉強会では駐神戸大韓民国総領事の李相列（イ サンヨル）氏をお招きし、「この10年の韓日関係」・「韓国と日本を取り巻く国際環境」・「最近の韓日関係」について講義をして頂きました。通常、座っての講義が殆どなのですが、李総領事は約1時間立ちっぱなしで大変興味深い話をされていました。



これまでの10年間は「これ以上何をすれば両国の関係改善に役に立つのか」という最悪の状況だったが、尹錫悦大統領に交代してからの急速な変化により、お互いを「ホワイトリスト国」に回復させたりする事で、厳しいながらも国際的に相互依存しあう経済関係を成立する事が出来る結果となっていると解説されていました。またそれでも尹錫悦大統領の支持率は賛成が約35%で、反対は約59%と低調ながら、20・30代の韓国の若者達はその約71%が両国の関係改善を望んでいると説明されていました。それを如実に表しているのが国内を訪れる海外からの観光客は日本にとっては韓国人が1位であり、韓国にとっては日本人が1位であるという事実です。李総領事は希望としてもう少し年齢層の高い世代がお互いの国を訪れるようになれば、より人的交流が盛んになり、両国関係がより良い方向に向かうはずと述べておられました。講義をされていた約1時間は内容が濃く、興味を惹かれましたので、大変短く感じました。李総領事に改めて深く感謝申し上げるとともに、これからの日本と韓国の関係が素晴らしいものになっていく様に望むばかりです。

### ★ホームページの維持管理について

ホームページをリニューアルしたのが2021年3月でした。その直後は各店舗のお店情報とかもある程度、更新されていたのですが、最近はその頻度も減っているように思われます。この4月でホームページの維持管理をして頂いていた業者との契約が切れ、現在新しくホームページの脆弱な面を洗い出し、より良い活用をして行くために新しい業者と今後の進め方について模索中です。運用方法が刷新されるのは少し先になりそうですが、決まり次第随時皆様にご報告し、このホームページを活性化出来ればと思っています。

### ★編集後記

今月の勉強会では記事でご紹介しました様に李相列駐神戸大韓民国総領事をお招きしましたが、5月29日に韓国商工会議所兵庫様の主催で主にKOBEM三宮・ひと街創り協議会のメンバーを中心に李領事を囲んでの懇親会がありました。お酒を交えての大変リラックスした雰囲気での会で、李領事の優しく、親しみやすいお人柄が随所に感じられて会話も弾みました。30名程の懇親会でしたが、この様なお互いに顔を突き合わせた時間というのが、たとえ政治的に困難な関係性にあっても両国の相互理解への一助になるのでしょうか。デジタル技術を活用してのやり取りではなく、こういった人と人との繋がりが街のプロジェクト等を進めて行くときには潤滑油になります。これからも地道に人との交流関係を大事にした街創りを進めて行きたいと思います。



美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

